



# 向陽だより

杉並区立向陽中学校発行  
平成31年3月15日 3月号(通算330号)  
<http://www.suginami-school.ed.jp/kouyouchu/>

《教育目標》  
◇よく考える人  
◇思いやりのある人  
◇たくましい人  
『人間賛歌』の教育

## 究極の自分軸

校長 菅野 武彦

先日の全国紙の一面に私のふるさとの記事が載った。福島県川俣町山木屋地区。山木屋(やまきや)という響きからはいかにも田舎の山村を連想させるが、まったくその通りだ。私が少年時代に“野山を駆けずり回った”と紹介したふるさとである。新聞の見出しは「再開1年 児童戻らず休校へ」だった。原発事故で出された避難指示の解除を受け、昨年再開したばかりの町立山木屋小学校がわずか1年で休校することになりそうだという。在校するのは6年生5人のみ。この3月に卒業すると、児童が全くいなくなる。避難指示を解除はしたものの、子育て世帯がふるさとに戻っていない。戻っているのは高齢者や子育てを終えた世代に限られているのが実態だ。

あれから8年。“3.11を忘れない”とは言うものの、時の流れとともに風化は避けられなくなる。被災地から遠く離れたところで暮らす人たちにとってはなおさらのこと。東京で暮らす私は被災地に思いをはせることはまれだ。両親が仮設住宅で避難生活を送っていた頃は、帰省するたびにあれやこれやと話し込むこともあった。ところが、両親がふるさとには戻らず、5年前に同じ町内に引っ越すころから、話題はもっぱら新しい環境での生活に変わっていった。生活に慣れることに精一杯で、次第にふるさとへの思いも遠のいていく。事ここに至っては前を向くしかないのだ。ふるさとの家も取り壊した。もはや住めるような状態ではなくなっていた。更地になったしまったふるさとのなんと殺風景なことか。“家”そのものの存在がこんなにも大事だったとは…。思い知らされた。

雪国の寒さに耐える生活からの連想なのか、東北の人は辛抱強いとか、我慢強いと言われる。そういう東北の人でさえ、2、3年ならまだしも5年、6年の歳月には抗(あらが)えないという

ことだ。すでに被災者たちの生活基盤はよそに移ってしまい、ふるさとは人が戻らない。ふるさとの再建への道のりは容易ではない。それでも学校を再開するには訳がある。学校が地域再生に欠かせない存在だからだ。1年前、児童数は少なくとも我がふるさとの学校再開には希望を抱いたものだ。それもつかの間、1年後のふるさとの記事に心が痛む。被災地では、何もかもが8年の歳月が作った壁の前で立ち往生しているように思えてならない。あの手この手で多難な再建に立ち向かわなければならぬ現状が何ともどかしい。

先日の全校朝礼で「自分軸～命を守る～」と題して生徒同士の話し合いをさせた。ポイントはふたつ。ひとつは身の危険を感じる場面をできるだけ挙げてみる。もう一つはそのなかのひとつを想定してどのようにして身を守るかを出し合う、というもの。これは“3.11を忘れない”ために、毎年3月の全校朝礼で東日本大震災にまつわる講話をしている経緯からである。生徒の話し合いの様子を見て回った。あれ、いつもの活気が見られない。私の予想を覆(くつがえ)す生徒の様子は少々冷や汗ものだ。いまひとつぴんときていないのか。それとも思い当たらないのか。見て回っているうちに我慢できなくなり、つい横から口を出してしまう。

あとで私なりに要因を考えてみた。ひとつは私の説明不足と時間の短さを思った。いわゆる、生徒への“問いの出し方”だ。いきなりの問いに戸惑ったのだろう。もう一つは、もしそうだとしても、生徒の想像力不足ではないかと思った。自分の身の危険を予測する力、想像する力ってとても大事なこと。幼少時の遊びから現在までの生活のなかで学び取ったり身に付けたりすることでもある。ある意味究極の自分軸だ。想像力をたくましくさせたい。地震は我々日本人をいつでもどこでも被災者に変えてしまうのだから。

## 2月下旬から3月上旬の行事

3月2日(土) 向陽こども祭り 主催; 向陽中学校校区地域教育連絡協議会

地域教育連絡協議会が主催する向陽こども祭りに生徒会、吹奏楽部、ダンス部が活躍しました。放送委員が司会進行を担当し、生徒会は魚釣りコーナーを開設しました。吹奏楽部とダンス部がお祭りを盛り上げて、閉会後には地域の方がついたお餅たくさんを食べました。



3月4日(月) 3~4校時 1年生 「笑育」落語出前授業

1年生を対象にコミュニケーション能力の向上を目指して、三遊亭鳳志師匠とじゃんけん様をお招きして、落語教室を実施しました。太鼓の音の意味から始まり、落語鑑賞、休憩をはさみ、師匠からご指南を受けての五人の生徒が小噺体験に積極的に参加しました。



3月7日(木) 3~4校時 2年生 上級学校説明会

都立高校7校、私立高校8校の先生方をお招きして、学校説明会を開催しました。2年生生徒と保護者の方々が各校のブースを回って進路選択に向け、説明を真剣に聞きました。



3月8日(金) 1年生 地域清掃

1年生がPTAの方々とともに軍手やトンゴを手に学校やおおぞら公園、神田川周辺のゴミ拾い地域清掃に取り組みました。PTAの方々、ご協力ありがとうございました。



3月9日(土) 3校時 オリンピック・パラリンピック教育&3年生女子ダンス発表

仲元歩美様をお迎えし、障害者スポーツについて学びました。柔道指導者として青年海外協力隊に参加し、ザンビアで生活した経験や視覚障害柔道選手を指導したお話しに全校生徒が聞き入りました。最後には、選手たちから向陽中生へのメッセージ動画を披露してくださいました。お礼に3年生女子がダンスを披露しました。



表彰

- 平成30年度 体育優良生徒 高橋 悟 君、内藤 円夢 さん
- 平成30年度 産業教育奨励賞 田口 桐生 君、神村 美欧 さん
- レスキュー隊修了証 ☆齊藤花実さん、☆桐野真樹君、氏原真君、小林千隼君、田中崇大君、林菜奈さん、鈴木美唯さん、☆は3年間隊員 パーカー寿々さん、熊田小桃さん、佐々木琴里さん、佐藤香埜子さん、松原由依さん、吉田愛さん
- 防災標語コンクール優秀作品 堀川史羽君「冷静が 生命(いのち) 未来に繋げてく」
- 第68回東京都公立学校美術展覧会出品者 永坂友理香さん、松本恵生君、小林千隼君、田口桐生君、光辻悠馬君、岡野江里子さん、木村朱璃さん、内藤芽生さん、小澤律人君、藤野恒己君、プラント拳君、神村美欧さん、五味和菜さん、多湖由利子さん、花井愛子さん、足達美杏さん、佐藤真子さん、鈴木美唯さん、傳寶千映さん

《今後の予定》(3月~4月)

- 19日(火) 第70回 卒業式
- 25日(月) 平成30年度 修了式 学校運営協議会
- 26日(火) ~4月5日(金) 春季休業
- 27日(水) 妙法寺 子ども食堂

○ 4月8日(月) 平成31年度 始業式

- 9日(火) 第73回 入学式
- 10日(水) 身体計測・聴力検査(1・3年)
- 11日(木) 生徒会オリエンテーション
- 15日(月) 全校朝礼 ○ 17日(水) 保護者会